

第4次柏市生涯学習推進計画 (令和3年度進捗状況・主な事業)

第4次柏市生涯学習推進計画は、外部の有識者を含む附属機関に、計画の進捗を報告するとともに、意見を聞きながら、計画的かつ効果的に推進を図っていきます。

進捗管理及び評価については、主な事業について毎年度確認を行い、中間評価では全ての事業についての確認の結果から、計画への位置づけ変更や新たな事業の位置付けを含む検討を行います。

最終年度には各事業の指標達成度及び本計画の目指す方向性の観点から総合的に評価し、次期計画につなぎます。

各事業の総合評価につきましては、3段階で示しています。

総合評価	達成度
A	かなり達成できた
B	あまり達成できなかった
C	達成できなかった

ステップごとの総合評価の分布

「はじめるきっかけ」を支援

A	1	B	3	C	0
---	---	---	---	---	---

「もっと知りたい、つながりたい」を支援

A	3	B	6	C	0
---	---	---	---	---	---

「ひろく伝えたい」を支援

A	1	B	1	C	2
---	---	---	---	---	---

情報提供による学びの支援

A	1	B	1	C	1
---	---	---	---	---	---

計					
A	6	B	11	C	3

(20事業中)

1 「はじめるきっかけ」を支援

A あらゆる世代が参加できる様々な学びの提供

B 障害の有無，言語や時間・経済的制約に関わらず，共に学ぶ環境の充実

事業名	担当課	実現へのアプローチ (計画への位置付け)
・障害理解推進事業	障害福祉課	A,B
・かしわフレイル予防ポイント	福祉政策課	A
・学校支援ボランティア	学校教育課	A
・夏ボラのススメ	社会福祉協議会	A,B,F

2 「もっと知りたい，つながりたい」を支援

C 団体同士・学ぶ人同士の交流

D 大学や民間事業者との連携

E より深い学びへの発展

・市民活動講座	市民活動支援課	E
・障害者活動センター運営事業	障害福祉課	C
・福祉喫茶コーナーの運営	障害福祉課	C
・ママパパサロン	地域保健課	C
・地域子育て支援拠点事業	子育て支援課	C
・放課後子ども教室	生涯学習課	D,E,F,G
・分館活用事業	図書館	C,E
・地域アーカイブ事業	図書館	C
・地域学校協働活動	学校教育課	C,D,E

3 「ひろく伝えたい」を支援

F 人材の育成

G コミュニティの育成

H 行政機関の連携

・地域活動支援補助金	市民活動支援課	G
・地域づくり事業	中央公民館	F,G
・地域学校協働活動推進員の養成	学校教育課	F
・地域いきいきセンター	社会福祉協議会	A,C,G

4 情報提供による学びの支援

・子育て支援情報提供事業	こども政策課	情報提供
・生涯学習情報提供システム	生涯学習課	情報提供
・ライフスタイルに合わせた学習コンテンツの提供	生涯学習課	情報提供

3 取組方針の施策体系

ステップ	① 「はじめるきっかけ」を支援	
実現へのアプローチ	A あらゆる世代が参加できる様々な学びの提供	B 障害の有無, 言語や時間・経済的制約に関わらず, 共に学ぶ環境の充実
A	あらゆる世代が参加できる様々な学びの提供	
具体的事業	障害理解推進事業, 聞こえない・聞こえにくい方の手話講習会, 手話奉仕員・点訳奉仕員・朗読奉仕員養成講座 (障害福祉課) かしわフレイル予防ポイント (福祉政策課・地域包括支援課) 生涯学習まちづくり出前講座*1 (生涯学習課) 青少年教育事業, 家庭教育事業 (中央公民館) 読み聞かせボランティア養成, 交流型講演会*2 (図書館) 学校支援ボランティア (学校教育課) 夏ボラのススメ, ボランティア養成講座, 地域いきいきセンター (社会福祉協議会)	
B	障害の有無, 言語や時間・経済的制約に関わらず, 共に学ぶ環境の充実	
具体的事業	障がい者スポーツ推進連絡会事業 (スポーツ課・障害福祉課) 障害理解推進事業 (障害福祉課) 身体等が不自由で来館が困難な方への図書郵送貸出 (図書館) 夏ボラのススメ (社会福祉協議会)	
検討中の具体的事業	読書バリアフリー法関係事業*3 (図書館)	

主な事業

具体的事業	事業概要	年次計画
障害理解推進事業 (障害福祉課)	<ul style="list-style-type: none"> 障害の有無にとらわれず誰でも参加できる場を提供し, 障害理解を育む活動に取り組む。 障害理解・啓発イベントの実施や, 障害のある人が各種講座等に安心して参加できるように, 手話通訳者の派遣やヒアリンググループの貸出などを行うもの。 	令和3年度～7年度 ・スポーツや音楽を通じたイベントや気軽に参加できるイベントを実施。障害に触れたことのない方も関わりやすい企画を毎年実施 ・手話通訳者の派遣とヒアリンググループの貸出 意思疎通を図ることに支障がある方や団体を対象として, 事業を継続。支援を必要とする方に事業や貸出場所の周知を行う。
かしわフレイル予防ポイント (福祉政策課・地域包括支援課)	市が指定する健康づくりやボランティア活動に参加することで, 本制度専用の電子マネー-WAONカードにWAON加盟店で利用できるポイントが貯まる。 フレイル: 年をとって心身の活力 (筋力, 認知機能, 社会とのつながりなど) が低下した状態	令和3年度～6年度 フレイルを予防する要因の一つとして「社会参加」が挙げられるので, 多くの方が活動に参加できるような多様な対象事業の拡充を図る。あわせて, ポイントを貯めることを契機とする新規の方も含めた参加者増を目指す。 令和7年度 令和6年度までの実績を分析し, 効果的な施策を検討する。
学校支援ボランティア (学校教育課)	小中学校において, 地域ボランティアが参画する様々な支援活動	令和3年度～5年度 活動を組織的なものに発展させ, 学校・家庭・地域が一体となって地域ぐるみで子供を育てる体制を整え, 順次地域学校協働活動につなげていく。 令和6年度～7年度 引き続き地域学校協働活動につなげていく。
夏ボラのススメ (社会福祉協議会)	小～高校生向けボランティア活動情報誌。時間のある夏休みに特化したボランティア体験	令和3年度～7年度 毎年度発行を継続, 周知を図る。

ステップ	② 「もっと知りたい、つながりたい」を支援
------	-----------------------

実現へのアプローチ	C 団体同士・学ぶ人同士の交流	D 大学や民間事業者との連携	E より深い学びへの発展
-----------	-----------------	----------------	--------------

C	団体同士・学ぶ人同士の交流
具体的事業	KIKAI(カシワワカモノプロジェクト)*4, 市民交流センターの運営*5 (協働推進課) こずっち会議*6 (地域支援課) 障害者活動センター運営事業, 福祉喫茶コーナーの運営事業 (障害福祉課) ママパパサロン (地域保健課) 地域子育て支援拠点事業 (子育て支援課) みんなの子育て広場*7, 青少年育成関係事業 (生涯学習課) 高齢者教育事業 (中央公民館) 地域アーカイブ事業, 分館活用事業, 交流型講演会*2 (図書館) 地域学校協働活動 (学校教育課) 地域いきいきセンター (社会福祉協議会)
D	大学や民間事業者との連携
具体的事業	放課後子ども教室 (生涯学習課) 青少年教育事業 (中央公民館) 地域学校協働活動 (学校教育課)
E	より深い学びへの発展
具体的事業	市民活動講座 (協働推進課) 手話通訳者・要約筆記者養成講座 (障害福祉課) 放課後子ども教室, 生涯学習まちづくり出前講座*1 (生涯学習課) 分館活用事業 (図書館) 高齢者教育事業 (中央公民館) 地域学校協働活動 (学校教育課)

主な事業

具体的事業	事業概要	年次計画
市民活動講座 (協働推進課)	外部講師等による市民活動のためのスキルアップ講座	令和3年度～7年度 設立間もない市民活動団体やこれから活動を始めたい市民を対象とした初歩的な講座, すでに活動している市民活動団体を対象としたスキルアップ講座を定期的実施。各年度全5回開催予定
障害者活動センター 運営事業 (障害福祉課)	教育福祉会館リニューアルに伴い, 新たに設置した障害者等の社会参加及び福祉の向上を目的として, 障害当事者や家族, 支援者等の活動の拠点となる場	令和3年度～7年度 障害関係団体の活動支援, 障害当事者や家族, 支援者等の交流, 気軽に障害者が集える障害者サロン(仮称)を開設予定
福祉喫茶コーナーの 運営事業 (障害福祉課)	障害者雇用や就労体験, 障害理解の推進を図る場となるよう, 福祉喫茶の管理運営を行う。	令和3年度～7年度 福祉喫茶の運営を通じて, 障害者雇用や就労体験, 市民等への障害理解を推進できる場となるよう取り組む。

ママババサロン (地域保健課)	産前後サポート事業(デイサービス型)。妊娠期に必要な知識や健康づくりの啓発及び地域での子育ての仲間づくりを行う。	令和3年度～5年度 柏市母子保健計画中間評価を踏まえ、事業を推進していく。 令和6年度～7年度 令和5年度までの実績を踏まえ、子育て支援機関等と連携し、事業を推進していく。
地域子育て支援 拠点事業 (子育て支援課)	地域ぐるみの子育て支援。育児講座や子育て等に関する相談、子育て親子の交流及び子育て関連情報提供の場	令和3年度～5年度 アンケート調査等により利用者のニーズを把握し、単独型の拡充等に向けた取組を行う。 令和6年度～7年度 既存施設の質の維持・向上を図るとともに、利用者数の推移等を精査し、施設の在り方を検討する。
放課後子ども教室 (生涯学習課)	地域ボランティア等の参画による小学校の余裕教室を活用した放課後の学習支援等を行う他、夏休み中は学校や企業等との連携による体験講座を実施	令和3年度～5年度 地域や学校と連携し、子ども達の知的好奇心を引き出すプログラムの工夫を行うとともに、放課後の子どもの居場所を拡充したモデルを実施 令和6年度～7年度 放課後に子ども達が安全に過ごすことができる活動拠点を増やし、地域全体で子どもを守り育てる環境を形成
分館活用事業 (図書館)	図書館分館を地域の情報拠点・交流の場として活用する。	令和3年度～5年度 分館単位での地域の特性や情報についての調査及び資料等の収集と活用検討を、地域の方とともにを行う(2～3分館)。 令和6年度～7年度 調査、検討を踏まえた地域情報の発信及び地域のつながりを育む事業の実施
地域アーカイブ事業 (図書館)	柏市を創ってきた近現代の活動を記録した地域資料や、市内でのみ流通する発行物など、いま収集しなければ失われてしまう資料等を収集し、整理・保存していく。	令和3年度～5年度 収集する資料の検討及び収集方法、保存方法、活用方法の検討 令和6年度～7年度 調査、検討を踏まえた事業の実施
地域学校協働活動 (学校教育課)	幅広い地域住民等の参画を得て、地域全体で子供たちの学びや成長を支えるとともに、「学校を核とした地域づくり」を目指して、地域と学校が相互にパートナーとして連携・協働して行う様々な活動	令和3年度～5年度 地域と学校をつなげる地域学校協働活動推進員となり得る人材の発掘、研修を行うとともに、地域学校協働本部の設置を進める。 令和6年度～7年度 引き続き、人材の発掘、研修を行うとともに、すべてのコミュニティ・スクール単位で地域学校協働本部の設置を目指す。

- *1 生涯学習まちづくり出前講座 市民の依頼に応じて関係部署の市職員が講師となり、地域に出向き、市政に対する興味・関心に応える。
- *2 交流型講演会 講演会の後に、課題についてワークショップ形式で話し合ってもらおう。
- *3 読書バリアフリー法 「視覚障害者等の読書環境の整備に関する法律(2019年6月28日公布・施行)」の通称。視覚障害や肢体不自由など各種障害によって読書が困難な人々の読書環境を整備することを目的として制定された。
- *4 KIKAI(カシワワカモノプロジェクト) 自ら考え、行動する若者に向けて交流の機会や活動の場所を提供する。
- *5 市民交流センターの運営 地域を構成するさまざまな主体の自主的な活動や主体同士がつながるための拠点として、地域情報等に関する情報の収集・発信や、市民活動に関する相談窓口の設置を行う。パレット柏の運営
- *6 こすっち会議 子どもが住み良い地域にするために、ふるさと協議会と子育て世代がつながり、お互いの活動や考えを知り合う会議
- *7 みんなの子育て広場 学校・家庭・地域が協力して、講習会や井戸端会議的なグループワークなどを実施し、情報収集や不安・悩みの解消、仲間づくりを支援する。

ステップ	③ 「ひろく伝えたい」を支援		
実現へのアプローチ	F 人材の育成	G コミュニティの育成	H 行政機関の連携
F	人材の育成		
具体的事業	市民公益活動情報サイト「かしわん、ぼっ？」（協働推進課） 聞こえない・聞こえにくい方の手話講習会、手話奉仕員・点訳奉仕員・朗読奉仕員養成講座（障害福祉課） 放課後子ども教室（生涯学習課） 成人教育事業，地域づくり事業（中央公民館） 地域学校協働活動推進員の養成（学校教育課） 夏ボラのススメ，ボランティア養成講座（社会福祉協議会）		
G	コミュニティの育成		
具体的事業	地域活動支援補助金（地域支援課） 障害福祉関係団体活動補助金（障害福祉課） 放課後子ども教室（生涯学習課） 成人教育事業，地域づくり事業（中央公民館） 交流型講演会*2（図書館） 地域いきいきセンター，地区担当職員による地域支援*8（社会福祉協議会）		
H	行政機関の連携		
具体的事業	生涯学習実施機関のネットワーク化の推進（生涯学習課）		

主な事業

具体的事業	事業概要	年次計画
地域活動支援補助金 （地域支援課）	地域活動や地域課題の解決を図ろうとする団体の支援	令和3年度～5年度 令和3年度は次年度以降の補助金制度見直しに向け検討。広報や地域活動への支援を通じて本補助制度を周知し、新たな取組の増加を図る。 令和6年度～7年度 見直した結果を踏まえ実施
地域づくり事業 （中央公民館）	地域が抱える様々な課題を、専門的な視点から掘り下げ関心を高め、課題解決に役立てる。	令和3年度～5年度 既に取り組を行っている地域については、引き続き課題解決に向けた講座等の実施。取組が行われていない地域について、地域課題の把握方法を検討 令和6年度～7年度 地域課題解決に向けた講座等を行う地域の増加

地域学校協働活動 推進員の養成 (学校教育課)	小中学校において、地域ボランティアが参画する様々な支援のまとめ役の育成。学校と地域をつなぐ役割を担う。今後、地域学校協働本部が立ち上がった際には、より広い活動を行う推進員が学校と地域の協働を支えていく。	令和3年度～7年度 推進員及び推進員候補者の研修を実施することで、推進員としての資質向上を図る。令和4年度から地域学校協働活動が開始された学校の推進員への委嘱を行う。研修については継続して実施し、全校配置後は連絡協議会を開催する。
地域いきいき センター (社会福祉協議会)	地域づくり・子育て・障害者・高齢者支援等の充実を図るため、近隣センターを拠点として、身近な福祉の相談窓口を設置する。	令和3年度～7年度 毎年度1ヶ所の設置を目指す。併せて次期設置場所の検討・準備を進める。

*8 地区担当職員による地域支援 地区担当職員が積極的に地域に足を運び、住民と協働して課題解決に向けた取組を行い、活動や団体の立ち上げのサポートを行う。

ピックアップ

地域アーカイブ活動 (官民連携の事例)

風早南部歴史・文化ほりおこし隊の取組

風早南部地区の歴史や生活文化を知り、守り、伝えていく取組が、地域の方や地元の小中学生、行政等の連携によって行われています。

プロジェクトチーム

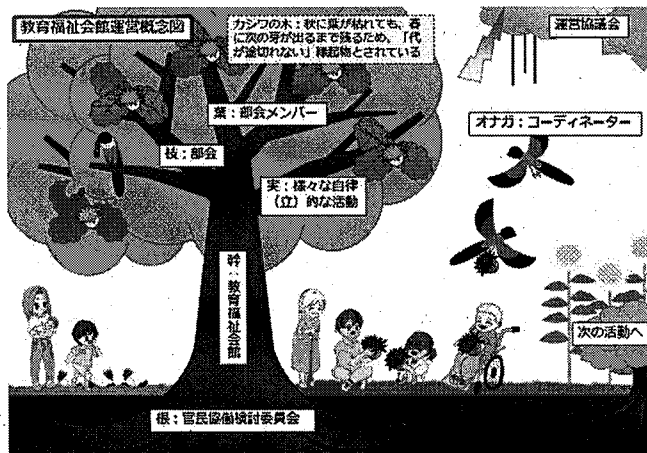
- ・多世代交流型コミュニティ実行委員会
- ・風早南部地域ふるさと協議会
- ・教育委員会生涯学習部
- ・地域づくり推進部
- ・社会福祉協議会 など



高柳歴史ウォーク

ピックアップ

教育福祉会館の運営体制見直しの取組



教育福祉会館は、令和3年の大規模リニューアルに合わせた「教育と福祉の交流や連携」の取組が進んでいます。

今後は、「利用者目線に立った施設の一体的な運用」や、「教育と福祉の連携による多世代交流や地域づくり活動の支援を強化する」など、運営体制の見直しを推進します。

教育福祉会館運営概念図

テーマ	④ 情報提供による学びの支援
-----	-----------------------

具体的事業	市民公益活動情報サイト「かしわん、ぼっ？」（協働推進課） 子育て支援情報提供事業（子育て支援課） 生涯学習情報提供システム、ライフスタイルに合わせた学習コンテンツの提供（生涯学習課） レファレンスサービス*9（図書館）
-------	--

主な事業

具体的事業	事業概要	年次計画
子育て支援情報提供事業 （子育て支援課）	子育てに関する制度やイベント、支援団体情報などを子育てサイトやLINEで発信	令和3年度～5年度 新HPによる情報提供開始。特にLINE公式アカウントの周知に努め、積極的な情報発信を行う。 令和6年度～7年度 次回リニューアル時に向け、課題等を精査し、需要に合った情報提供ができるよう検討する。
生涯学習情報提供システム （生涯学習課）	生涯学習に関する情報（講座・イベント、団体等）を探したり、掲載したりできるサイト。官民を問わず柏市内及び近隣市の情報を提供	令和3年度～5年度 利用者が必要な情報を探しやすいように、情報の一元化を含めHPの見直しを検討。市民ニーズに合わせた情報を増やしていく。 令和6年度～7年度 様々な世代に情報が提供できる仕組みを検討・工夫しながら実施していく。
ライフスタイルに合わせた学習コンテンツの提供 （生涯学習課）	公民館・近隣センター等における受講、自宅でのPC受講など、さまざまなツールを利用できる学習コンテンツの提供と情報提供を行うことにより、ライフスタイルに合わせた学習機会を拡充する。	令和3年度～5年度 先進的な取組を調査。市民アンケート結果等を基に、新しい学習コンテンツ提供を幅広く試みる。 令和6年度～7年度 効果的な取組の検証やシステム改修の検討をしながら、学習機会の提供を継続する。

*9 レファレンスサービス 学習・研究・調査のため必要な情報や資料などを求める図書館利用者に対し、図書館員が情報そのものや、そのために必要とされる資料を検索・提供・回答する。

ピックアップ

はぐはぐひろば みずたま相談室・相談室ぽぽら

はぐはぐひろば（地域子育て支援拠点）は、親子で遊ぶ場だけではなく、子育て相談室を設置し、子どもを遊ばせながら、気軽に相談できる体制を整えています。

子育て支援アドバイザーがそれぞれの悩み・困りごとに寄り添って、適切な子育て支援サービスにつなげます。



みずたま相談室

事業名	障害理解推進事業		担当課	障害福祉課
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・障害の有無にとらわれず誰でも参加できる場を提供し、障害理解を育む活動に取り組む。 ・障害理解・啓発イベントの実施や、障害のある人が各種講座等に安心して参加できるように、手話通訳者の派遣やヒアリンググループの貸出などを行うもの。 			
計画への位置付け	A・B	主な事業の位置付け	「はじめるきっかけ」を支援	
「はじめるきっかけ」への効果	<ul style="list-style-type: none"> ・障害の有無に関わらず参加できる場を提供することで、差別の解消を図り障害理解を深めるきっかけになる ・「障害」への理解促進・意識啓発を図ることで、「共生」の意識づくりのきっかけになる 			
連携・関連事業	ボランティア養成講座、読書バリアフリー法関連事業、障がい者スポーツ推進連絡会事業、障害者活動センター運営事業、福祉喫茶コーナーの運営事業、生涯学習まちづくり出前講座			
R3年度の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・障害理解イベントでは様々なイベントを行い、障害者との関わりや、理解を深める場を提供した。 ・手話通訳者の派遣は緊急性や必要性を検討し、柔軟に対応した。 ・ヒアリンググループについては、貸出機器を増やし利便性を向上させたが、貸出方法について改善を求める声があり、次年度からの運用変更に向け取り組んだ。 			
R2年度からの変更	有り	理由・効果	障害理解イベントは例年よりも多くのイベントを実施し、より障害への理解が深まる場を提供した。	
進捗状況 (数値が適さない場合は説明も可)	指標	基準	目標(R7年度)	実績(R3年度)
	障害者理解イベントの開催件数	10件	25件	10件
	手話通訳者・要約筆記者派遣件数(証へ)	612件	770件	568件
総合評価	B	評価の理由	障害理解イベントは、参加者から好評を得た。一方ヒアリンググループの貸出方法については、一部見直しを行うため、関係部署との協議・調整を行っている。	

事業名	かしわフレイル予防ポイント		担当課	福祉政策課	
事業概要	市が指定する健康づくりやボランティア活動に参加することで、本制度専用の電子マネーWAONカードにWAON加盟店で利用できるポイントが貯まる。				
計画への位置付け	A	主な事業の位置付け	「はじめるきっかけ」を支援		
「はじめるきっかけ」への効果	ポイントを貯めることをきっかけとして、健康づくりやボランティア活動により多くの市民が参加する効果が期待される。				
連携・関連事業	学校支援ボランティア, 地域学校協働活動, 放課後子ども教室, 地域いきいきセンター, 市民活動講座				
R3年度の取組	○感染予防対策を考慮したフレイルチェック講座を検討, 実施 ○ワクチン接種会場や柏レイソルホームゲーム等でのフレイル予防啓発				
R2年度からの変更	無し	理由・効果			
進捗状況 (数値が適さない場合は説明も可)	指標	基準	目標(R7年度)	実績(R3年度)	
	かしわフレイルポイントカード発行枚数	2,044枚	10,000枚	17,653枚	
	対象事業数	150	250	346	
総合評価	A	評価の理由	効果的な講座実施や啓発活動等により, 当初の目標数値を達成したため。		

事業名	学校支援ボランティア		担当課	学校教育課	
事業概要	小中学校において、地域ボランティアが参画する様々な支援活動。				
計画への位置付け	A	主な事業の位置付け	「はじめるきっかけ」を支援		
「はじめるきっかけ」への効果	できることをできるときにできる人が学校支援ボランティアを始めることにより、学校への支援につながり、自身の生きがいとなる				
連携・関連事業	かしわフレイル予防ポイント、地域学校協働活動、地域学校協働活動推進員の養成				
R3年度の取組	コロナ禍で学校の活動が制限される中、各学校ごとに実施できる支援活動を行った。				
R2年度からの変更	無し	理由・効果			
進捗状況 (数値が適さない場合は説明も可)	指標	基準	目標(R7年度)	実績(R3年度)	
	支援を受けた学校数	53校	63校	51校	
総合評価	B	評価の理由	コロナ禍ではあったが、多くの学校で支援活動を実施することができたため。		

事業名	夏ボラのススメ		担当課	社会福祉協議会	
事業概要	小～高校生向けボランティア活動情報誌。時間のある夏休みに特化したボランティア体験。				
計画への位置付け	A・B・F	主な事業の位置付け	「はじめるきっかけ」を支援		
「はじめるきっかけ」への効果	ボランティア体験を通じて、福祉分野に対する知識と理解を深めることができる。				
連携・関連事業	地域いきいきセンター				
R3年度の取組	55施設、34団体の協力を得て、夏ボラのススメを発行し、市内の小・中・高等学校、大学に配布、ボランティア体験への参加を促した。				
R2年度からの変更	無し	理由・効果			
進捗状況 (数値が適さない場合は説明も可)	指標	基準	目標(R7年度)	実績(R3年度)	
	体験者数	600人	700人	360人	
総合評価	B	評価の理由	コロナ禍で受入可能施設・団体が減少したが、令和2年度と比べ体験者は増加した。		

事業名	市民活動講座		担当課	市民活動支援課
事業概要	外部講師等による市民活動のためのスキルアップ講座			
計画への位置付け	E	主な事業の位置付け	「もっと知りたい、つながりたい」を支援	
「もっと知りたい、つながりたい」への効果	講座への参加を通して、市民活動団体の運営基盤の強化や団体同士の交流につながる。			
連携・関連事業	かしわフレイル予防ポイント、地域活動支援補助金			
R3年度の取組	R3年度は市民活動講座を4回開催。 ICT講座（2回）・クラウドファンディング活用講座・広報講座			
R2年度からの変更	無し	理由・効果		
進捗状況 (数値が適さない場合は説明も可)	指標	基準	目標(R7年度)	実績(R3年度)
	参加団体数	50団体	100団体	35団体
	参加人数	100人	150人	40人
総合評価	B	評価の理由	参加団体数を増やすことができなかったものの、いずれの講座も講義を聞くだけでなく、実習的な要素を重視した結果、団体の運営基盤の強化や団体同士の交流につなげることができた。	

事業名	障害者活動センター運営事業		担当課	障害福祉課	
事業概要	教育福祉会館リニューアルに伴い、新たに設置した障害者等の社会参加及び福祉の向上を目的として、障害当事者や家族、支援者等の活動の拠点となる場				
計画への位置付け	C	主な事業の位置付け	「もっと知りたい、つながりたい」を支援		
「もっと知りたい、つながりたい」への効果	<ul style="list-style-type: none"> ・障害当事者や支援者等が活動を通して、当事者間の交流や障害理解を深める ・障害者等が活動センターにおけるイベント等に参加することで、障害理解や社会参加につながる 				
連携・関連事業	障害理解推進事業、交流型講演会				
R3年度の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・新たに2団体が障害者活動センターの活用開始、うち1団体は12月に実施した障害理解イベントにおいてイベントを実施 ・R4年度からNPO法人が障害者向け相談（障害年金相談）を実施できるよう調整、会場の認知度を向上させるとともに障害者の利便性向上を目的に利用団体の裾野を広げた 				
R2年度からの変更	有り	理由・効果	稼働率向上及び認知度向上のため、相談会場としての使用を開始		
進捗状況 (数値が適さない場合は説明も可)	指標	基準	目標(R7年度)	実績(R3年度)	
	センターの稼働率	-	50%	30.2%	
	センターでのイベント実施数	-	24	7	
総合評価	B	評価の理由	コロナ禍におけるキャンセル等もあり、年間の稼働率は思うように向上しなかったが、利用団体拡大等、次年度に向けた活動を行ったため		

事業名	福祉喫茶コーナーの運営事業		担当課	障害福祉課	
事業概要	障害者雇用や就労体験、障害理解の推進を図る場となるよう、福祉喫茶の管理運営を行う				
計画への位置付け	C	主な事業の位置付け	「もっと知りたい、つながりたい」を支援		
「もっと知りたい、つながりたい」への効果	<ul style="list-style-type: none"> ・喫茶コーナーで働く障害者が就労体験を通して、社会参加につながる ・喫茶コーナーを利用する方が従業員とのふれあいを通して、障害理解につながる 				
連携・関連事業	障害理解推進事業				
R3年度の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・障害者の就労の場として、年間約400人の障害者が利用。 ・ラコルタ柏フェスティバルに出店し、イベント参加者への周知を行った。 				
R2年度からの変更	有り	理由・効果	電話機の設置による電話予約開始やラコルタ柏フェスティバル出店等、集客につながるような工夫を行った。		
進捗状況 (数値が適さない場合は説明も可)	指標	基準	目標(R7年度)	実績(R3年度)	
	就労した障害者の数(延べ)	-	480人	401人	
	喫茶利用者数(年間)	-	20,000人	14,176人	
総合評価	B	評価の理由	本格稼働1年目として、試行錯誤しながら運営を行った。コロナ禍における制約もあり、従業員とのふれあい等、障害理解に係る部分に課題は残るが、障害者の就労の場としては一定の評価ができる。		

事業名	ママパパサロン		担当課	地域保健課
事業概要	産前産後サポート事業（デイサービス型）。妊娠期に必要な知識や健康づくりの啓発及び地域での子育ての仲間づくりを行う。			
計画への位置付け	C	主な事業の位置付け	「もっと知りたい、つながりたい」を支援	
「もっと知りたい、つながりたい」への効果	<ul style="list-style-type: none"> ・妊娠期から、両親で子育て等の知識を得る機会となり、不安の解消や更なる学習意欲、両親での主体的な育児の実施につながる。 ・地域における子育て家庭の交流の機会となり、孤立予防、育児の仲間づくりにより安心につながる。 			
連携・関連事業	地域子育て支援拠点事業			
R3年度の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・感染症拡大防止のため参集型の教室は中止し、駅前すこやかプチルームで個別対応を行った。沐浴や妊婦体験ジャケット等のママパパ体験を中心に支援の充実を図った。 ・特定妊婦等に対しては、オンライン形式の教室を開催した。（このとりサロン） 			
R2年度からの変更	有り	理由・効果	新型コロナ感染症拡大防止のため、個別対応とオンライン開催により参加者に安心・安全な環境を提供できる選択肢が増えた	
進捗状況 (数値が適さない場合は説明も可)	指標	基準	目標(R7年度)	実績(R3年度)
	参加人数	288人	480人	412人
	知り合いになれた割合 (アンケート)	20%	25%	個別で実施
総合評価	A	評価の理由	妊娠期に、両親で子育て等の知識を得る機会となり、不安の解消や主体的な育児支援につながった。	

事業名	地域子育て支援拠点事業	担当課	子育て支援課	
事業概要	地域ぐるみの子育て支援。育児講座や子育て等に関する相談、子育て親子の交流及び子育て関連情報提供の場			
計画への位置付け	C	主な事業の位置付け	「もっと知りたい、つながりたい」を支援	
「もっと知りたい、つながりたい」への効果	子育ての当事者である乳幼児の保護者同士が支え合い、子ども同士も育ち合う関係をつくることできる。			
連携・関連事業	みんなの子育て広場、ママパパサロン			
R3年度の取組	新型コロナウイルス感染予防のため、予約制等で利用人数の制限を設けて実施したが、地域子育て支援拠点単独の施設は、はぐはぐひろば沼南・はぐはぐひろば若菜ともに、前年度を上回る利用があった。			
R2年度からの変更	無し	理由・効果	令和2年度から引き続き、利用人数の制限を設けて実施している	
進捗状況 (数値が適さない場合は説明も可)	指標	基準	目標(R7年度)	実績(R3年度)
	はぐはぐひろば利用者数	29,616人	31,896人	31,292人
総合評価	B	評価の理由	コロナ禍でも、できるだけ多くの方が利用できるよう、イベントの回数を増やすなど工夫し、利用者数を伸ばしたため。	

事業名	放課後子ども教室		担当課	生涯学習課	
事業概要	地域ボランティア等の参画による小学校の余裕教室を活用した放課後の学習支援等を行う他、夏休み中は学校や企業等との連携による体験講座を実施				
計画への位置付け	D・E・F・G	主な事業の位置付け	「もっと知りたい、つながりたい」を支援		
「もっと知りたい、つながりたい」への効果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市民や地域団体等が小学生の放課後活動の支援に継続的に関わることで学校との連携につながる ・ 学習支援等に参加するボランティアは、活動を通して子どもとの関わり方に対する興味が広がる 				
連携・関連事業	地域学校協働活動、青少年教育事業、地域アーカイブ事業、かしわフレイル予防ポイント				
R3年度の実績	補充学習「ステップアップ学習会」に加え、体験活動「夏休み子ども教室」を実施した。				
R2年度からの変更	有り	理由・効果	新型コロナウイルス感染拡大防止のために実施がなかった「夏休み子ども教室」を再開した。		
進捗状況 (数値が適さない場合は説明も可)	指標		基準	目標(R7年度)	実績(R3年度)
	参加児童数(延べ)		45,000人	56,000人	19,925人
	参加ボランティア数(延べ)		8,000人	10,000人	3,759人
総合評価	B	評価の理由	令和2年度よりも参加者数や実施校は増加したが、「ステップアップ学習会」の全校実施が達成できなかったため。		

事業名	分館活用事業		担当課	図書館
事業概要	図書館分館を地域の情報拠点・交流の場として活用する。			
計画への位置付け	C・E	主な事業の位置付け	「もっと知りたい、つながりたい」を支援	
「もっと知りたい、つながりたい」への効果	人と人がつながることで、新たな価値が生まれ、新たな創造活動が期待される。			
連携・関連事業	交流型講演会、地域いきいきセンター、地域づくり事業			
R3年度の取組	増尾分館と永楽台分館で地域情報コーナーを新設した。			
R2年度からの変更		理由・効果	令和3年度から開始した事業（令和2年度は試行的に高柳分館で実施）	
進捗状況 (数値が適さない場合は説明も可)	指標	基準	目標(R7年度)	実績(R3年度)
	対象とする分館数(延べ)	-	10館	3館
				高柳・増尾・永楽台
総合評価	A	評価の理由	周辺地域の歴史や現在の市民活動を紹介する地域情報コーナーを2ヵ所の分館に新設したことで、地域の再発見や地域住民の交流、地域への愛着などの醸成につながった	

事業名	地域アーカイブ事業	担当課	図書館	
事業概要	柏市を創ってきた近現代の活動を記録した地域資料や、市内でのみ流通する発行物など、いま収集しなければ失われてしまう資料等を収集し、整理・保存していく。			
計画への位置付け	C	主な事業の位置付け	「もっと知りたい、つながりたい」を支援	
「もっと知りたい、つながりたい」への効果	<ul style="list-style-type: none"> ・世代交代等で失われてしまう地域資料や情報等を地域で共有していくことで、地域への愛着が生まれることが期待される。 ・個人の持つ知識や体験が事業活動を通じて共有されることで、更なる学びに繋がることが期待される。 			
連携・関連事業	交流型講演会、放課後子ども教室、地域づくり事業			
R3年度の取組	増尾分館では、地元ゆかりのある画家・高島野十郎を取り上げた地域情報コーナーを新設。永楽台分館では、地域と交流の深い只見町の情報コーナーを新設した。また、外部団体と連携して「ふるさと柏のむかしばなしマップ」の本館・分館巡回展示や一部小学校での展示を実施した。			
R2年度からの変更	理由・効果	令和3年度から開始した事業（令和2年度は試行的に高柳分館で実施）		
進捗状況 (数値が適さない場合は説明も可)	指標	基準	目標(R7年度)	実績(R3年度)
	活動に関わった人数(延べ)	-	100人	-
総合評価	A	評価の理由	地域情報コーナーを2カ所の分館に新設した。なお、活動に関わった人数については、新型コロナによる影響で計れなかった。	

事業名	地域学校協働活動		担当課	学校教育課
事業概要	幅広い地域住民等の参画を得て、地域全体で子供たちの学びや成長を支えるとともに、「学校を核とした地域づくり」を目指して、地域と学校が相互にパートナーとして連携・協働して行う様々な活動			
計画への位置付け	C・D・E	主な事業の位置付け	「もっと知りたい、つながりたい」を支援	
「もっと知りたい、つながりたい」への効果	学校で子供たちの成長のために、地域が学校に関わることにより、地域が学校の様子を知り、学校での活動を通じて、活動する人同士がつながる			
連携・関連事業	放課後子ども教室、かしわフレイル予防ポイント、こずっち会議、みんなの子育て広場、学校支援ボランティア、地域学校協働活動推進員の養成			
R3年度の取組	各学校運営協議会委員を通して、地域の方に依頼し、活動を実施。			
R2年度からの変更	無し	理由・効果		
進捗状況 (数値が適さない場合は説明も可)	指標	基準	目標(R7年度)	実績(R3年度)
	学校運営協議会での話し合いから地域学校協働活動につながった学校数	0校	63校	17校
総合評価	B	評価の理由	コロナ禍ではあったが、従来からある地域学校協働活動に加え、制限のある状況の中で、できることに取り組めたため。	

事業名	地域活動支援補助金	担当課	市民活動支援課	
事業概要	地域活動や地域課題の解決を図ろうとする団体の支援			
計画への位置付け	G	主な事業の位置付け	「ひろく伝えたい」を支援	
「ひろく伝えたい」への効果	地域活動や地域課題の解決を図ろうとする団体を支援することで地域内のコミュニケーションが活性化し、よりよいコミュニティの醸成につながる。			
連携・関連事業	市民活動講座			
R3年度の取組	令和2年度に採択した7団体については、令和3年度に当該補助金に係る事業を実施した。また、令和4年度に当該事業の実施団体の募集を9月に行い、2月の選考会により8団体を選抜した。			
R2年度からの変更	無し	理由・効果		
進捗状況 (数値が適さない場合は説明も可)	指標	基準	目標(R7年度)	実績(R3年度)
	補助団体数	12団体	12団体	8団体
総合評価	B	評価の理由	新型コロナウイルス感染症感染拡大により、地域活動を自粛する団体が多かったため。	

事業名	地域づくり事業		担当課	中央公民館	
事業概要	地域が抱える様々な課題を、専門的な視点から掘り下げ関心を高め、課題解決に役立てる。				
計画への位置付け	F・G	主な事業の位置付け	「ひろく伝えたい」を支援		
「ひろく伝えたい」への効果	地域が抱える様々な課題への取り組みの過程と成果をひろく伝えていくことで、取り組みに参加していない方々の今後の参加や、取り組みを行っていない地域へ取り組みの魅力をアピールする。				
連携・関連事業	地域アーカイブ事業、分館活用事業、地域いきいきセンター、地域学校協働活動推進員の養成				
R3年度の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・風早南部地域：風早南部かるた ・酒井根地域：植えて育てて花いっぱいマイガーデン 				
R2年度からの変更	無し	理由・効果	地域課題を取上げ、地縁団体等と連携して事業を実施したから。		
進捗状況 (数値が適さない場合は説明も可)	指標	基準	目標(R7年度)	実績(R3年度)	
	取組を行っている地域(延べ)	1地域	6地域	2地域	
総合評価	C	評価の理由	地域課題講座を実施するにあたり、取組先の地域を増やすことのみを目指すのではなく、地域かるたの制作を通じた地域の歴史・文化の継承活動や花壇整備活動の人材育成などを重視して、取組んだため。		

事業名	地域学校協働活動推進員の養成	担当課	学校教育課	
事業概要	小中学校において、地域ボランティアが参画する様々な支援のまとめ役の育成。学校と地域をつなぐ役割を担う。今後、地域学校協働本部が立ち上がった際には、より広い活動を行う推進員が学校と地域の協働を支えていく。			
計画への位置付け	F	主な事業の位置付け	「ひろく伝えたい」を支援	
「ひろく伝えたい」への効果	地域と学校をつなぐ地域学校協働活動推進員を養成することにより、より多くの学校の情報が、より多くの地域の方へ届き、学校支援を始めるきっかけとなり、継続的に学校と地域の協働を支えることができる			
連携・関連事業	地域づくり事業、学校支援ボランティア、地域学校協働活動			
R3年度の取組	コロナ禍のため活動の制限があり、地域学校協働活動推進員の活動の場がなかった。			
R2年度からの変更	無し	理由・効果		
進捗状況 (数値が適さない場合は説明も可)	指標	基準	目標(R7年度)	実績(R3年度)
	推進員の委嘱数	-	26人	0人
総合評価	C	評価の理由	推進員の活動の場がないため、推進員養成の研修を実施しなかった。そのため、推進員の委嘱もできなかった。	

事業名	地域いきいきセンター	担当課	社会福祉協議会	
事業概要	地域づくり・子育て・障害者・高齢者支援等の充実を図るため、近隣センターを拠点として、身近な福祉の相談窓口を設置する。			
計画への位置付け	A・C・G	主な事業の位置付け	「ひろく伝えたい」を支援	
「ひろく伝えたい」への効果	複合的な生活課題の悩みについて、市民が気軽に相談に行くことができる場所が増える。			
連携・関連事業	分館活用事業、地域づくり事業、かしわフレイル予防ポイント、夏ボラのスズメ			
R3年度の取組	令和3年度、8ヶ所目となる新富地域いきいきセンターを新規開所。また近隣センターリノベーション会議への出席、関係各課との調整会議を設ける等、令和4年度以降の計画的な新規開設に向けて取り組んだ。			
R2年度からの変更	有り	理由・効果	コロナの影響や地域状況に応じ、整備計画について関係課と調整の上見直した。	
進捗状況 (数値が適さない場合は説明も可)	指標	基準	目標(R7年度)	実績(R3年度)
	設置数	7	12	8
総合評価	A	評価の理由	新規開設は予定通りの数値で進んでおり、今後の整備に向けた計画的な調整が図れたため。	

事業名	子育て支援情報提供事業		担当課	こども政策課	
事業概要	子育てに関する制度やイベント、支援団体情報などを子育てサイトやLINEで発信				
計画への位置付け	情報提供	主な事業の位置付け	情報提供による学びの支援		
情報提供による学びの支援への効果	<ul style="list-style-type: none"> ・孤立化や、子育てに悩む保護者の不安や負担等の軽減。 ・イベント等を通じ地域間でつながりを持つことで生まれる子どもへの健全な育ち・成長。 				
連携・関連事業	生涯学習情報提供システム				
R3年度の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・はぐはぐ柏については、子育て世帯向けの新型コロナウイルス感染症情報などを集約したページの随時更新を行いながらサイトの利便性向上を図った。 ・「はぐはぐ柏LINE公式アカウント」については、令和4年3月31日時点登録者数6,459人（前年比+1,344人）。コロナ禍で発信できる情報が減少する中、自宅で楽しめるコンテンツや再開した事業・イベント等の配信を優先して行った。 				
R2年度からの変更	無し	理由・効果	-		
進捗状況 (数値が適さない場合は説明も可)	指標	基準	目標(R7年度)	実績(R3年度)	
	子育て情報サイト「はぐはぐ柏」PV数	1,633,294PV	2,200,000PV	2,047,833PV	
	「はぐはぐ柏」LINE公式アカウント登録者数	3,802人	9,660人	6,459人	
総合評価	A	評価の理由	はぐはぐ柏閲覧目標数の達成率が約93.1%となっており、達成はしていないものの前年度比約5.2%の伸び率となったため、またLINEについても目標数は達成していないが登録者数が前年度比26.3%の伸び率となったため評価としてはAとした。		

事業名	生涯学習情報提供システム		担当課	生涯学習課	
事業概要	柏市内（近隣市）の生涯学習に関する情報（講座・イベント、団体等）を探したり、掲載したりできるサイト。官民間問わず情報を提供				
計画への位置付け	情報提供	主な事業の位置付け	情報提供による学びの支援		
情報提供による学びの支援への効果	多くの市民が閲覧しやすい情報を提供することで、生涯学習活動を活性化させ、コミュニティ形成の一助とする				
連携・関連事業	子育て支援情報提供事業				
R3年度の取組	市民の生涯学習活動支援を目的として、公共団体・大学・民間事業者・サークルなどの講座・イベント情報、生涯学習ボランティア情報、家庭教育関係情報などをHPにより発信した。				
R2年度からの変更	無し	理由・効果			
進捗状況 (数値が適さない場合は説明も可)	指標	基準	目標(R7年度)	実績(R3年度)	
	閲覧数	90,000件	100,000件	42,602件	
	新規情報提供数	-	120件	389件	
総合評価	B	評価の理由	閲覧数は低下しているものの、新規情報提供数は目標数を超えていることから、今後は利用者が必要な情報を探しやすいHPの構成・表示方法等の検討が必要である。		

事業名	ライフスタイルに合わせた学習コンテンツの提供	担当課	生涯学習課	
事業概要	公民館・近隣センター等における受講、自宅でのPC受講など、さまざまなツールを利用できる学習コンテンツの提供と情報提供を行うことにより、ライフスタイルに合わせた学習機会を拡充する。			
計画への位置付け	情報提供	主な事業の位置付け	情報提供による学びの支援	
情報提供による学びの支援への効果	ライフスタイルに合わせた多種多様な学習機会を提供することで、個々人の学習活動を支援し、自己実現を図れる環境を整える			
連携・関連事業	-			
R3年度の実績	生涯学習に関わる個々の事業や研修等で対面とzoomを活用したオンライン配信とのハイブリッド開催など新しい生活様式に即したコンテンツの提供が実施されはじめた。			
R2年度からの変更	無し	理由・効果		
進捗状況 (数値が適さない場合は説明も可)	指標	基準	目標(R7年度)	実績(R3年度)
	提供数	-	1以上	-
総合評価	C	評価の理由	国の動向を注視しつつ、ライフスタイルに合わせた学びのニーズに応える他市先進事例の取組調査等を行い今後の方向性を検討していく必要があるため。	